

Ⅱ 資格取得

本学科では「社会調査士」、「初級障がい者スポーツ指導員」、および社会福祉主事等の任用資格を取得するためのカリキュラムを用意している。

この他、学校・社会教育講座課程によって取得できる資格については、当該履修要項を参照すること。

1 「社会調査士」資格取得について

1. 資格の趣旨

「社会調査士」は、世論や市場動向・社会事象等をとらえる調査能力をもつ人に対して「一般社団法人 社会調査協会」が認定する資格であり、社会の実態を把握するための調査について専門的な知識と実施の技能があることを証明するものである。在学中に指定された科目を履修し単位を修得すれば、この資格を取得することができる。

本学科ではこの資格の対応科目すべてを設置し、1年次から段階的に履修できるようにしている。コミュニティの現状とニーズを把握し、改革課題を明らかにするための基盤として、リサーチ力が必須である。そのためには、インタビューの仕方、アンケートの作り方、統計資料の読み方などを学ぶ必要がある。官公庁や企業の調査部門・マーケティング部門、NPOや福祉機関などで働くことを希望する人々にとって、この資格は必要な知識と技能をもっていることの証になる。

またこの資格は、大学卒業時に資格対応科目の単位をすべて修得していれば申請できるが、それまでの一定の単位を修得することで「キャンディデイト」資格を在学中に申請することもできる。

資格についての詳細は、下記を参照すること。

2. 資格取得の申請方法・場所

資格取得のための試験等は特になく、大学卒業までに資格対応科目のすべてを修得すること、学部を卒業することで資格取得が可能になる。資格申請にあたっては、指定科目の単位修得を証明する書類と、審査・認定手数料を一定の期間内に揃えることが必要である。在学中の「キャンディデイト」資格についても同様であるが、卒業時に「キャンディデイト」資格から正規の社会調査士資格への「資格変更」手続きを行う必要がある。

資格取得の申請は、社会情報教育研究センターで受け付けている。なお、立教大学の学生は「キャンディデイト」資格の申請手数料に関して、一般の大学に比べて減額を受けられる。今年度の申請期間や具体的な手順などについての詳細は、社会情報教育研究センターHP (<https://spirit.rikkyo.ac.jp/csi/>)を確認すること。

3. 資格取得に必要な科目

資格取得のためには資格に対応した科目の単位をすべて修得することが必須である。本学科では社会調査協会が設定したカテゴリーA～Gに対応する開講科目がある。ただし、EとFはどちらか一方の単位を修得すればよい。

社会調査協会の科目区分	コミュニティ政策学科の科目名称	科目概要
A. 社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査法	社会調査の目的や歴史を学ぶ。また、調査をする上で守るべき倫理も勉強する。
B. 調査設計と実施方法に関する科目	リサーチ方法論1	社会調査を自分で企画して実際に行えるように、社会調査のプロセスを一通り学ぶ。
C. 基本的な資料とデータの分析に関する科目	統計学入門	官庁統計や調査報告書を理解して活用できるように、データの分析方法を学ぶ。

D. 社会調査に必須な統計学に関する科目	リサーチ方法論2	アンケート調査を実施して、自分の視点から分析できるように、社会統計学の基礎を学ぶ。
E. 量的データ解析の方法に関する科目	データ分析法	アンケート調査をより詳しく分析するために、社会統計学のさまざまな手法を学ぶ。
F. 質的な分析の方法に関する科目	質的リサーチ	インタビューの仕方、新聞記事の集め方、フィールドワークのやり方といった、質的な調査の手法を学ぶ。
G. 社会調査の実習を中心とする科目	社会調査実習※	これまでの授業で学んだことを生かして、実際に自分たちで社会調査を行う。調査を企画し、調査結果を報告書にまとめる。

(EとFは選択科目であり、1科目を履修すれば資格取得上は問題ない。)

(コミュニティ福祉学研究科前期課程の学生が専門社会調査士資格を取得する際、社会調査士資格を同時に申請する場合、E/Fは選択制、Gは不要。)

※「社会調査実習」の履修者は前年度に選考の上、決定する。履修を希望する者は、履修前年度までに「社会調査法」「統計学入門」を履修し単位を修得すること。

資格取得自体は、学科指定の科目の代わりに、同カテゴリーに指定されている他学部・全学共通カリキュラム(オンデマンド)の科目を、学科で修得した他のカテゴリーの科目と組み合わせて申請することも可能である。ただし、卒業に必要な学部の単位と混同しないように注意が必要である。

2 (財)日本パラスポーツ協会公認「初級障がい者スポーツ指導員」資格取得について

1. 資格の趣旨

コミュニティ政策学科の学生には(財)日本パラスポーツ協会が認定する、「公認障がい者スポーツ指導者制度」による「初級障がい者スポーツ指導員」資格を取得できるカリキュラムを用意している。

この資格は、障害者のスポーツの振興をはかることを目的とした指導者資格で、多様な障害者の障害内容に基づいた健康や安全管理を重視し、スポーツとの出会いの機会を演出し、スポーツの喜びや楽しさを理解させることに重点をおいたもので、障害者にスポーツの生活化を促進する指導技術の獲得をめざすものである。

2. 資格の申請手続き

コミュニティ政策学科の学生は、4年次に所定の資格取得申請書・調査書に手続き料を添えて、同協会に対して大学が行う一括申請手続きで申請することで、資格を取得することができる。申請に当たっては次に掲げる本資格取得に必要な科目を履修し、卒業することが必要である。なお、申請手続きの詳細は11月に掲示で発表する。

3. 資格に必要な科目・単位

ノーマライゼーション論、障害学入門、アダプテッドスポーツ論、障害者スポーツ論の4科目計8単位。